

これまでの10年、これからの10年 —移転・再スタート10周年寄付のお礼と今後の財団の運営について—

久しぶりのメールマガジン特別号の発行です。

昨年(2020年)は、5月から毎月特別号を発行し、NO.6まで配信しました。そのなかで、当財団が移転・再スタートしてからの10年間の活動を振り返るとともに、経営の危機がつづいてきた財団の存続可能性についても考えました。特別号NO.6では、つぎのように書きました。

「吹田市万博公園の大阪府立国際児童文学館が廃止されたために、それまで存在した児童文学館の財団への運営委託費はゼロになりました。財団が移転・再スタートしたときから、組織の規模を大はばに縮小して、かつての寄付金を取り崩しながら現在に至っています。

財団の経営危機を抜け出し、子どもの本・子どもの文化の振興にかかわる活動をより豊かにするにはどうしたらよいのか。収益事業に関しても様々な努力をしていますが、10周年の機会に、広く寄付をお願いする予定です。」

この10周年記念の寄付には、いろいろな方から応援メッセージをいただきました。2021年7月23日には、寄付してくださった方が381人になり、目標額の500万円を超えました。ありがとうございます。その後もご寄付がつづき、キャンペーン期間を終了した10月末には、協力してくださった方がのべ506人、目標額に対して126%に達しました。

記念寄付とは別に、おひとりの児童文学研究者から、1,000万円のご寄付もいただきました。通常皆様からいただくご寄付は財団事業や運営全般に充てさせていただくのに対し、このご寄付は、児童文学研究の活性化および促進につながる特定の事業に充てるものとして今後検討していくつもりでおります。

財団運営にかかる財源については、これまで同様、皆様からのあたたかいご支援によって成り立ちます。多くのご支援に深く感謝申し上げますとともに、継続してのご協力を切にお願い申し上げます。大阪府などから公的資金を得られる見通しは、現在のところ立ちません。当面、毎年の寄付の目標額を今回と同額にさせていただき、財団におきましても収入が得られるさらなる工夫と努力をつづけてまいります。

財団は、一般財団法人から公益財団法人になることの検討もはじめました。(公益法人化すれば、ご寄付に関して税金が控除されるようになります。)

今回の10周年記念寄付に対するたくさんのご支援は、財団の活動に対する評価と期待のあらわれでもあると重く受け止めております。これを機に、より一層

皆様のご期待にお応えできますよう、つとめてまいります。

この一年は、コロナ禍のなかで「YouTube 版 本の海大冒険」を毎週配信するなど新しい事業にも挑戦して、幸い好評をいただいております。今月から年度末にかけては、オンライン講座「授業に役に立つ 子どもの文学 5つのレッスン」を配信し、財団の活動と学校現場にもつなぐことも試みます。

子どもの本・子どもの文化の未来を拓くことは、この国の未来を創り出すことにほかなりません。皆様からのお励ましによって、大阪国際児童文学振興財団は、新しい10年の創造にむけて歩きはじめました。引きつづきご支援、ご協力をいただけますよう重ねてお願い申し上げます。

2021年11月2日

一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 理事長 宮川 健郎

発行：一般財団法人 大阪国際児童文学振興財団 <http://www.iiclo.or.jp/>
〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-2-1 大阪府立中央図書館内
TEL：06-6744-0581 FAX：06-6744-0582 E-mail：office@iiclo.or.jp
